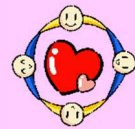


育成会 かわさき



知的障害者親の会 会報 No.207

2023. 2. 1

新年のごあいさつ

川崎市育成会手をむすぶ親の会
会長 美和 とよみ



皆様、お元気で新年をお迎えのことと存じます。去年は、新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら活動を進めてまいりました。今年も皆様とお会いできる機会が増えることを願っております。役員一同、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。どうぞ、お身体を大切にお過ごしください。今年もよろしくお願いたします。

さて、「川崎市育成会手をむすぶ親の会」として活動を始めて、今年の4月で満10年になります。そこで、10周年記念事業として、記念誌作成と記念式典を計画しました。

記念誌は、親の会10年の活動のほかに「地福協」の活動についても掲載し、先人の想いや活動の記憶が薄れていく中、記録を残し、次の世代に繋げて行くことができればと思っています。5月完成を目指して進めています。

式典は6月1日(木)13時から川崎市総合自治会館で、市長をはじめご来賓の方々をお迎えして開催します。会員の皆様には、今からご予約くださいますようよろしくお願いいたします。大勢の皆様の参加をお待ちしております。詳しくは次号の会報でお知らせします。

また、1月14日(土)に川崎市民プラザに於いて「二十歳を祝う会」が開催されました。成人年齢が18歳になったこともあり名称が変更になりました。3年ぶりの開催は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、午前午後の2部制になり、パーティは行われませんでした。一同に集うことができなかったのは残念ですが、開催され、ともにお祝いできたことはうれしいことでした。

二十歳になられた方々の今後の活躍を期待し、楽しい人生を送られることを願います。当会も一助となるよう、一緒に歩んでいきたいと思っております。

皆様が、ますます幸せになられますように、心よりお祈り申し上げます。

ホームページ、リニューアル公開

「川崎市育成会手をむすぶ親の会」で、検索してください。



令和5年二十歳を祝う会 市長祝辞

令和5年1月14日（土）川崎市民プラザ
川崎市長 福田 紀彦



新しく二十歳を迎えられた皆さん、本日は誠にめでたうございます。

また、保護者の皆様、温かく支え導いて下さった先生方にも感謝を申し上げます。そして今日の「二十歳を祝う会」をご準備・企画されました稲葉校長先生をはじめ、実行委員の皆様にも心から敬意と感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

コロナ禍が始まって今年でもう3年になりますが、皆さんも、不自由な生活が続いたと思います。目標が見えづらくなったり、いろいろなことで我慢したり、今まで普通にできていたことができなかつたり、会いたい人とも会えなかつたり、様々な苦労があったと思います。そういう中で、しっかり頑張り、乗り越えて今日を大人として迎えられたことに、心から敬意を表したいと思います。

私もこの3年間のコロナ禍の中でいろいろな気づきや学びがありました。コロナ患者さんを受け入れている、ある病院の院長先生が私に教えてくれました。「コロナ患者を受け入れ治療するというと、医師・看護師がテレビなどでも紹介されるのですが、実はそのほかにも、多くの人たちが関わっているのです。ここに来るための交通機関、タクシーだったらその運転手さん、送迎を行う人、病院の駐車場では整理するガードマンさんがいます。病院には、検査の受付の人もいれば、検査をする検査技師もいます。検査した後は、部屋を清掃する人、入院していたら入院中の服をクリーニングする人もいます。あらゆる仕事の人たちが、一緒にチームで働いて、初めて私たちはコロナウイルスに立ち向かうことができているのです。誰一人欠けても、コロナの治療はできないのです」と。

世の中は、皆に仕事・役割があって、その務めをしっかりとすることによって、初めてうまく回っているのです。どこかで途切れてしまうと、なかなかその先に進まないということ、当たり前前が実は当たり前じゃなかったということ、コロナ禍を経験して気付いたと思います。私たち一人一人できることに差異はありますが、みんなが役割を持っていて、その役割を果たしていくことで、社会で普通の生活ができるということではないでしょうか。それぞれの役割がとても大切だということを自覚して、その役割を担ってほしいと思います。

これからは責任を伴う自由と、今までになかった挑戦をする楽しさがあると思いますが、楽しいことばかりではないはずです。これは尊敬する先輩から聞いた話ですが、朝顔はただ朝陽があたると咲くというわけではなく、太陽が登る前の暗い夜と冷たい朝露があつて、きれいに咲くのだそうです。私たちの生活もそうじゃないでしょうか。多少辛いときがあつたとしても、我慢するとき、頑張らなくちゃいけないとき、というのがあつて人は成長し、そして楽しさも嬉しさも、何倍にもなる。人それぞれの色で花が美しく咲くのだと私は思います。

また、ぜひ物事を前向きに捉えていただきたいと思います。今日は雨が降っていますが、雨を生憎の雨、残念な雨と思う一方で、日本はお米を作る国で、雨が降らなければお米が食べられなくなりますから、雨は恵みの雨です。雨が降ること一つとってもいろいろ見方があるわけです。毎日起きる出来事をどう前向きに捉え、自分のものにしていくかということが、皆さんの人生が豊かになっていくことに繋がると思います。

是非これからも仲間を大切にしてお世話になった先生方、保護者の皆さん、まわりの人々への感謝の気持ちを忘れず、大人としての一步を大きく踏み出していただくことを心から期待しています。皆様の人生が幸多きことを願ってお祝いの言葉とさせていただきます。本日は、本当におめでたうございます。

新二十歳誓いの言葉

新二十歳代表 きた ゆうへい
木田 悠陸

本日は、私たちのために、このような素晴らしい式典を開いてくださり、誠に、ありがとうございます。

市長をはじめ、ご来賓の皆様より、お祝いや激励のお言葉をいただき、深く御礼申し上げます。

私たちは、たくさんの愛情を注いで育ててくれた家族や、地域の皆様、学校の先生方に、温かく見守っていただいたおかげで、二十歳という人生の節目、そして大人としての門出を迎えることができました。

私は今、仕事をがんばっています。仕事では、イヤホンガイドの袋詰めやタイピング練習をしています。

私の目標は、サラリーマンになることです。『スーツを着たカッコいいサラリーマン』になれるように、これからも今の仕事をがんばります！

私たちはこれからまたそれぞれの道を一步一步、歩み続けていきます。

変動する日々を過ごす中で、力強く歩ける時もあれば、道に迷うことや立ち止まる時もあると思います。どうか、これからも温かい目で見守り、支えていただきますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、昨今の感染症対策により、様々な活動に制限がかかることが多くある中、今まで当たり前であったことの貴重さを胸に、『日々の日常を大切にできる大人になること』をここに誓います。以上をもちまして、誓いのことばとさせていただきます。



新二十歳代表 うえの ゆうこ
上野 裕子

私は、高津養護学校生田東分教室を卒業して、株式会社はまぎんビジネスチャレンジドに就職しました。今年で3年目です。

株式会社はまぎんビジネスチャレンジドは、本社と新横浜に分かれていて、私は新横浜で働いています。

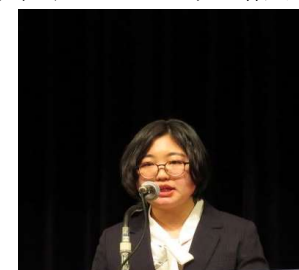
仕事の内容は書類のスキャン、郵便、各支店に送る書類を専用の袋に入れる。その袋を発送する箱に入れ直す仕事をしています。

今まで頑張ってきたことはパソコンです。これまでのパソコンの仕事では、丁寧さを重視してきましたが、これからはスピード、効率を重視していきたいです。

入社してからの2年間毎日欠かさず、お弁当を作ってくれる母、いつもお帰りと安心する言葉を言ってくれる父のおかげでここまで来ることができました。

毎日帰ったら、暖かい家族がいることは、とても幸せです。私も将来、今の家族のような家庭を作り、自分の家族にも同じ言葉をかけてあげたいです。

これからも迷惑をかけると思いますが、毎日一歩ずつ頑張っていきます。



川崎市長より、新二十歳の皆様へ記念品贈呈がありました



第56回手をつなぐ育成会関東甲信越大会 長野大会

開催日：令和4年10月22日（土）

ホクト文化ホール（長野県民文化会館）中ホール
大会テーマ 「地域で暮らす」

大会式典（開会式）

主催者挨拶 来賓祝辞 中央情勢報告

☆コロナ禍ではありますが、3年ぶりに参集型の大会が開催されました。当会からは、本人参加イベントの参加者2名を含め、13名が参加しました。



鼎談・座談会

《第1部》鼎談「西駒郷の地域生活移行を振り返って」

講師 福岡 寿氏（NPO）日本相談支援専門員協会顧問

講師 小林 彰氏（社福）かりがね福祉会理事長

講師 山田 優氏 平成15年当時の西駒郷地域生活移行責任者

司会進行 刈間 靖氏

☆本人の意思を尊重し、入所施設（500名）の7割の方の地域生活移行を進めた。その中で、コーディネーターやワーカーの必要性が重視され、総合相談センターを実現させた。それが自立支援協議会、計画相談100パーセント、地域生活支援へと繋がっているとのことです。

《第2部》「地域で暮らす、地域とは」

事例発表者 窪田 守さん

窪田守さんの支援者 内堀 祐輔さん（社福）廣望会地域生活支援センターCoCo ながの所長

事例発表者 木原 宏治さん（欠席）

木原宏治さんの支援者 仲條 祐輔さん（NPO）信州能力開発ネットワークベシスホーム須坂管理者

☆グループホームで楽しく生活し、お仕事もがんばっている様子を話してくださいました。

《第3部》シンポジウム「長野県の障がい福祉施策～皆様へのメッセージ」

コーディネーター 又村 あおい氏（一社）全国手をつなぐ育成会連合会常務理事

登壇者 野口 直樹氏（社福）高水福祉会常務理事

片桐 政勝氏（社福）アルプス福祉会常務理事

中村 彰氏 長野県手をつなぐ育成会長

☆当たり前に「住まい方」を選べる社会になるよう、福祉サービスのあり方、人材不足対策などについて意見がありました。



住まいの選択肢がいろいろ増えてきました。本人の意思（親の意見ではない）に寄り添った住まいの選択をどのようにしていくのか？その支援者の確保は？など課題が多く、みんなで考えていかなければならないと思います。

長野に行ってきた（本人参加イベント）

私たちの広場 北川 順英

川崎から新幹線で長野におりたとき空気がひんやりしていました。長野駅でおりて、僕と針木さんは、藤巻さんと別行動しました。僕と針木さんは、東京駅で買っていた弁当をホクト文化ホールの2階ロビーでたべました。正午ごろ、ホクトの1階にあつまって、バスに乗り善光寺の近くでおりて、歩いて善光寺に行きました。5名のグループに、2名の世話人がついて案内してくれました。針木さんと僕と2人で、抹茶のソフトクリームをたべました。美術館では、和牛の色ぬりをしました。牛の色ぬり難しかったです。良い経験になりました。



第13回全国手をつなぐ育成会権利擁護セミナーin石川

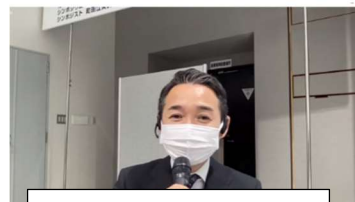
『あなたも私も、望む暮らしを続けたい』

～地域生活支援拠点ってなんですか？～

書記 加藤 敦子

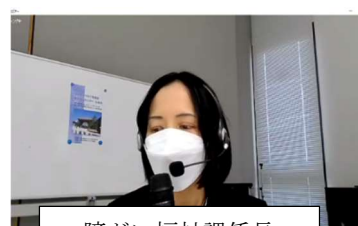
1月1日(火)権利擁護セミナーin石川にオンラインで参加しました。

初めに、厚生労働省障害福祉専門官の松崎貴之氏より「地域生活支援拠点等事業について」の話がありました。障害児者の増加、高齢化、重度化に伴う障害福祉サービス関係予算額は15年間で約3倍に増加しており、地域で安心して暮らしていくための地域生活支援の拠点等の整備は欠かせません。各自治体が施設を整備・機能させるにはどうしたら良いのか、事例が紹介されました。



厚生労働省障害福祉専門官
松崎貴之氏

栃木市では、障害福祉課障がい児者相談支援センターを中心に「栃木市くらしだいじネット」という地域生活支援拠点を立ち上げています。緊急時支援事業を栃木市障害福祉課が担い、24時間365日携帯電話による緊急連絡体制を確保、情報収集のための事前登録制で安心・安全な支援に繋がっています。自立支援協議会と連携し、地域課題の把握や対応策、支援体制を検討しています。



障がい福祉課係長
町田江美氏

金沢市では、金沢市障害者基幹相談支援センターの取り組みが紹介されました。市内のサービス等利用計画の計画相談の実施率は99%でセルフプランはたった1%だそうです。



基幹相談支援センター
主任専門員 寺西里恵氏

令和2年10月からは、「サービス等利用計画・障害児支援利用計画」を、これまでの日々に暮らしを支える支援に加え、親なき後や将来を見据えた「My ライフプラン」や災害時や緊急時等を想定した「クライシスプラン」を加えた「かなざわ安心プラン」にグレードアップ。「かなざわ安心プランは、単なるサービスを使うために作成するものではなく、障害のある人や家族、支援者が将来望む暮らしのイメージについて具体的に考え、それを実現するために必要なさまざまな社会資源について知り、実現に向けて何ができるかを考える機会となるためのもの」という説明が心に響きました。地域課題の解決のため、自立支援協議会と連携しています。

鹿児島市の社会福祉法人ゆうかりでは、多機能整備拠点施設を整備、1階に生活介護事業所と鹿児島市障害者地域生活支援拠点、2階にグループホームと相談支援、安心コールセンター、3階にグループホームと短期入所事業所があります。安心コールセンターでは、拠点支援員として宿直1名を配置して24時間対応、市内16法人と協力連携の協定を締結しているとのこと。しかし、管理者が休めず、拠点のコーディネーターを増やすことが課題だそうです。



社会福祉法人ゆうかり
理事長 水流源彦氏

川崎市では、人材不足という理由で計画相談からセルフプランへの移行を進めています。しかし、今回の事例を聞くと別のやり方がないだろうかと考えさせられます。

全育連の田中専務理事がこのセミナーを受けて「地域生活支援拠点事業は、登壇された3人の皆様の発表の水準に全国の自治体があれば、頼れる仕組みになると確信しました」とのコメントを出されています。川崎市でも、自治体の事情にあった地域生活拠点事業の推進を願ってやみません。

行政関係者との研修会

研修事業推進委員 西澤 知子

10月31日(月)てくのかわさき「てくのホール」において、参加者38名での「行政関係者との研修会」を行いました。コロナ禍でもあり、会員限定としました。



開催にあたり、「当会は相談支援を全ての障害児者が利用できるよう、行政に要望しています。子どもたちの将来を考えるとときには必要な制度です」と会長が話しました。

川崎市健康福祉局地域包括ケア推進担当係長 敷野めぐみ氏から「川崎市の相談支援の取り組み(主に障害相談支援センター事業について)」、相談支援体制をめぐる課題や今後の相談支援体制・人員体制の強化・令和3年10月からの再編についてなどのお話でした。

続いて、川崎市健康福祉局障害福祉部障害計画課担当係長 坂井隆氏からの「障害福祉サービスと計画支援について」では、障害福祉サービス利用の流れの説明がありました。

質疑応答では、相談支援センターの再編により、契約していた事業所の閉鎖や担当者の能力差などで戸惑っている、事業所の場所がわからない、電話が通じないなどの意見がありました。

誰もが利用できる、安心して相談できる、そのような相談支援センターになるよう声をあげていく必要があります。

やまゆり研修会「グループホームを知る」

～グループホーム探しから生活内容までお答えします!!～

副会長 吉野 明美

11月29日(火)やまゆり研修会がオンラインで開催されました。

講師の、明星会竹の子ホーム管理者の清田聡氏と、偕恵園いわまワークスグループホーム施設長の高桑厚史氏が、それぞれのグループホームでの日常や支援体制、金銭に関することなどを、事前に出された多くの不安・質問に触れながらわかりやすく話してくださいました。グループホームの概要を知ることができ、我がことに置き換えて考えることができました。



清田 聡氏

お二人は、グループホームを選ぶには、計画相談をすること、情報収集や見学をするなどして特色を見ることをすすめていました。

そして、何よりも本人がグループホームで過ごしたいという気持ちが大切だと話していましたので、本人がどうしたいのか、意思を汲み取れるよう努力し、親の支援なき後の居場所探しをしようと思っていました。



高桑 厚史氏

知的障がい児者・自閉症児者の 生サポは 家族の安心を支えます

●日常生活に関する相談支援 ●就労に関する相談支援
●権利擁護に関する相談支援 ●3事業を実施しています。

主な補償内容

病気やケガで入院したとき 入院給付金	病気で死亡したとき 疾病葬儀費用保険金 ※プランによって補償します	虐待・逮捕・勾留に対応するとき 弁護士費用等補償 ※プランによって補償します
ケガをしたとき 死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金 (地震・噴火・津波によるケガも対象)	賠償責任を負ったとき 個人賠償責任保険金	就労中に他人にケガをさせたり物を壊してしまったとき 職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

生活サポート総合補償制度

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者
株式会社 ジェイアイシー
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11
新宿三井ビル2号階2F
TEL: 03-5321-3373 FAX: 03-5321-4774
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

引受保険会社

AIG損害保険株式会社
https://www.aig.co.jp/sonpo
東京第二プロチャネル営業部
〒163-0814 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル14階
TEL: 03-6894-9110
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

一般社団法人やまゆり知的障害児者生活サポート協会
〒221-0825 神奈川県横浜市神奈川区反町3-17-2
神奈川県社会福祉センター5F
TEL: 045-314-7716 FAX: 045-324-0426
http://yurisapo.jp/index_qhm.php

2021年12月現在の内容です。(D-005642 2023-03)

2022年度は1月1日現在9,870名余です。毎月1日付で加入できます。2023年度もご加入よろしくお願いたします。

啓発キャラバン隊研修会

会計 梅田 順子

10月12日(水) たつの市手をつなぐ育成会が事務局となって、「啓発キャラバン隊研修会」が会場とオンラインで開催されました。当会からは、かわさきキャラバン隊のメンバーがオンラインで参加しました。

① **話題提供**：テーマ「こうやって広めました・つながりました」 花笠ほ一ふ隊
ユーモアを交えてキャラバン隊の始め方についてわかりやすく話しました。花笠ほ一ふ隊は山形県全域で活動しているのであまり集まることはなく、その時に参加できる人が活動に参加しているそうです。育成会の会員だけでなく市役所職員や消防士なども隊員になっているようで、人と人とのつながりが原点だとのこと。積極的に活動していることがお二人のお話から伝わってきました。

② **シンポジウム**：テーマ「教えて！地元の役所や学校とどうやって繋がったらいいの？」
たつの市の学校関係者や市役所職員が実際どのように繋がったのかを話しました。市役所の「まちづくり」にたつの市手をつなぐ育成会の矢野会長が毎年参加して、だんだん広がったとのこと。役所が市民の声に耳を傾けてくれたのです。矢野さんの「面白がってやる。楽しくやって伝える。」という言葉が印象的でした。

③ **実演**：広島あび隊 (小学校バージョン)

あらかじめ録画したのを見ました。子どもたちの心に響くようなインパクトのある内容で、素人とは思えない演技力に圧倒されました。いつか対面でできるようになったら、挑戦したいものです。



④ **グループディスカッション**：ZOOMブレイクアウトセッション利用

オンライン参加者をいくつかのグループに分けて情報交換をしました。それぞれの育成会で頑張っている皆さんの活動を直接聞くことができ、有意義な時間となりました。私たちも、より多くの人に疑似体験をしてもらえるように活動していきます。

一般社団法人
全国手をつなぐ育成会連合会の
会員の皆様へ

手をつなぐがん保険

(国・県総合生活保険)

障がいのある方とそこご家族をワイドにお守りする保険です

なぜ障がいのある息子はがん保険に加入できないのでしょうか？^(※)

(※)ぜんち共済のお客様アンケートより

久保会長とぜんち共済社長の榎本が「手をつなぐがん保険」に対する思いを対談形式で語っています。また、又村事務局長による加入方法のご案内もあります。動画を是非ご覧ください!!

動画はこちらから

https://youtu.be/MU8sw5liByk

特長1

代理手続き
代理告知が可能

障がいのある方向け
プラン

特長2

告知対象
疾患の緩和

障がいのある方向け
プラン

特長3

“親なきあと”に
備える補償

障がいのある方
ご家族向けプラン

手をつなぐがん保険に興味を持たれた方は
下記お問い合わせ先(取扱代理店)に資料請求を
お待ちしております。

[お問い合わせ先取扱代理店]
ぜんち共済株式会社
ZENCHO
〒102-0073
東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階
0120-322-150
TEL: 03-6910-0850 / FAX: 03-6910-0851
URL: http://www.z-kyosai.com/
MAIL: gan@z-kyosai.com
(営業時間 平日9:00~17:00(土日・祝日・年末年始を除く))

たった1分
スマホでカンタン資料請求

※QRコードはデンソーウェーブの
登録商標です。

[引渡保険会社]
東京海上日動火災保険株式会社
公務第一東東京公務課
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL: 03-3515-4126 (営業時間: 平日9:00~17:00)

この広告は、「手をつなぐがん保険」の概要をご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「パンフレット兼重要事項説明書」をよくお読みください。「手をつなぐがん保険」は団体総合生活保険のベネネームです。ご不明な点等がある場合は、代理店までお問い合わせください。

権利擁護委員会

かわさきキャラバン隊講演（知的障害疑似体験）

☆10月7日（金）「川崎市社会福祉協議会 施設部会 障害者福祉施設協議会 施設長会」

オンラインでのミニ講演（30分）を行いました。施設長の方々とということで、緊張の中、2つの疑似体験と朗読をしました。「とても新鮮だった。これからも続けてほしい」「障害者の気持ちを再認識できた」などの感想をいただきました。



☆10月8日（月）生活支援センターきまっしー主催「まじわる de まなぶ障がい基礎講座」

親の会の紹介、親の話、知的障害疑似体験、朗読をしました。会場とオンラインのハイブリッド開催でした。きまっしーのハイブリッドでの初講座ということで事前に機材の打ち合わせなどに伺いました。障害のあるお子さんをお持ちの方からは「参考になった。いろいろ考えさせられた」と感想があり、他にも「知的障害疑似体験がわかりやすく、よかった」「多くの人に体験してもらえるようにしたい」などのご意見をいただきました。

☆12月9日（金）13日（火）川崎市社会福祉協議会福祉人材バンク主催の、令和4年度地域課題研修「知ってほしいいろいろな特性～知的障害について～」

9日23名・13日27名の方の参加がありました。

エポックなかはら6階研修室の会場では、川崎市健康福祉局総合リハビリテーション推進センター地域支援室の職員から「知的障害について」の講演後、親の会の紹介と、「親の話」を2名がしました。その後、オンライン（ZOOM）で3つのプログラムと会場での実演で1つのプログラムを行い、朗読をしました。

会場での実演は、オンラインと違う緊張感がありましたが、参加者の笑顔や戸惑いなど反応がよくわかり、楽しく疑似体験を行えました。



「教えて!障害基礎年金」学習会

権利擁護副委員長 西澤 知子

11月8日（火）地域福祉施設ちどり1階第2会議室において、「障害基礎年金学習会」を会場とZOOMのハイブリッドで開催しました。会場は9名、ZOOMで20名の参加でした。

全国手をつなぐ育成会連合会権利擁護センター年金チーム作成のDVDを視聴した後、最近申請された先輩のお話という構成です。

前半「障害基礎年金の基本の『き』」後半の社会保険労務士さんに『ここ』を聞いてみよう」と進むにしたいがい 皆さん引き込まれていかれたようで 熱心にメモを取っていらっしやいました。基本的なことがよく分かったと好評でした。

申請された先輩のお話も、「とても興味深くわかりやすかった」「参考になった」と多くの感想を寄せられました。申請も少しずつ変わっているようです。医師の診断書がとても重要であること、診断書は必ずコピーを取っておくこと（永久認定になるまでは、何年か毎に診断書を書いていただかないとなりません）などは参考になったと思います。医師に子どもの病歴や過去から現在に至る日ごろの姿を伝えられるのは、身近にいる人なので「あんしんノート」などに成育歴書き留めておくことが大切なことだと思いました。

年金が必要な方に届くことを願って活動をして参ります。



令和4年度障害者週間のつどい

副会長 吉野 明美

12月3日（土）に開催された『手をつなぐフェスティバル』の中で、会場のとどろきアリーナのステージにて「障害者週間のつどい」が行われました。

障害福祉の発展向上における功績が顕著な方や、心の輪を広げる体験作文で入賞された方などの市長表彰が行われました。川崎市育成会手をむすぶ親の会からは、多摩支部長の神田明子さんが「心身障害児（者）福祉功労者」として表彰されました。

平素のご活躍の賜物とお祝い申し上げます。



第6回手をつなぐフェスティバル

会計 梅田 順子

12月3日（土）とどろきアリーナにて「第6回手をつなぐフェスティバル」が3年ぶりに開催されました。会場はいろいろな体験ができるようになっていて、ボッチャや車いすバスケットなど体を動かすものと福祉体験コーナーに分かれていました。INMOTION 試乗などには順番を待つ人の長い列ができていました。その他にも市内の施設の自主製品販売もあり、久しぶりに大勢の人で賑わっていました。



当会は福祉体験コーナーで「知的障害者の感じる世界を体験してみよう」と題して、キャラバン隊の疑似体験を行いました。小さなお子さんを連れた方からご年配の方まで、大勢の方々が体験をしてくれました。「川崎市障害者週間記念のつどい」にみえていた橋本市議会議長も体験を受けてくださいました。また、お隣の手話&音声認識の体験コーナーには、当事者の方も参加していて、キャラバン隊の疑似体験をしてくれました。キャラバン隊の担当者は手話ができないので、伝えるのが難しかったと話していました。

簡単そうにできる方もいれば、難しいと感想を言う方もいて、それぞれ何かを感じてくれたら良いなと思いました。障害者理解の底辺が少しでも広がってくれることを願います。



市長表彰の後にはスタンプラリー抽選会が行われ、会場は最後まで賑わっていました。いつもより短めのフェスティバルでしたが、たくさん笑顔を見ることができました。

第7回ふれあいバザールみぞのくち

11月10日（木）13時から、JR 武蔵 溝ノ口駅南北自由通路に於いて3年ぶりに市内17施設の参加で開催されました。

それぞれの施設のおすすめ商品やクリスマス・来年の干支の壁掛け、便利なエコバッグ、かわいいアクセサリ・リメイクされものなど…が並べられていて、販売担当の方々の元気な声に引き寄せられるように多くの方が足を止めていました。当日はお天気も良く、ゆっくり時間をかけて製品を見て買い物をする人たちで賑わっていました。



(三浦ルイ子)

私たちの広場「勉強会」 11月13日実施

今年の勉強会は「“バランスボール”を使ってストレッチをしたい。」という事で、NPO法人高津総合型スポーツクラブSELFの鈴木章弘先生（日本スポーツ協会公認指導者 スポーツプログラマー）に2年前に引き続き、来ていただきました。

健康の秘訣は“ニコニコ”“わくわく”する事だと教えていただき、明るい気分でストレッチ出来るように、「楽しい・好きな事ビンゴ」をしました。皆さんの知られざる一面（乗り物が好き、水曜日は“相棒”を見る）などを垣間見ることができました。



次はストレッチをし、身体があたたまった所でバランスボールを配付。最初は皆それぞれにバウンドを楽しんでいましたが、あっくん（鈴木先生）の指示が始まり、ボールの上にお腹をのせて腹ばいになったり、椅子のように座りながら手を伸ばしてバランスを取ったり、出来る人は足を浮かせてみたり…どのポーズもストレッチしながら、体幹を自然と鍛える事ができ、バランスボールを使う意味があると感じました。本人たちは体幹を鍛えている意識はなく、出来ない事が出来る楽しさを味わっていた様子でした。（事務局）

すったもんだの毎日

多摩支部 神田 明子

子どもは予想の斜め上を行き、「そう来たか！」と思う日々を過ごし現在に至っています。高校生の時だったと思うのですが大学病院に予防接種に行った際、腕を出さない息子に対し、学生、指導医、看護師が補佐に集まり、数えてみると白衣の方々が7人も。何とか注射に成功、満場拍手で診察を終えるというすごい経験をしたことがあります。彼は思ったより大したことないじゃないかと悟ったようで、その後の注射、血液検査などで困らなくなりました。



電車が好きで小さなころから一番後ろの車両で、車掌さんの動きを逐一観察、指差呼称やドアを閉める仕草も細かく観察しています。ある時、車内を巡回する車掌さんに「大きくなりましたね。電車がお好きなんですね」と声を掛けられ、驚いたのと同時に、照れくさいやら嬉しいやらという体験をしました。これからも優しく温かくそして時には厳しく、皆さんに見守っていただければいいなと思っています。

令和4年度川崎市障害者作品展

12月14日（水）～18日（日）アートガーデンかわさき第1・2展示室で開催されました。様々な障害のある方たちが創作した絵画、写真、書、手工芸などが展示されました。ひとつひとつの作品を、作者の思いや目線を感じながら興味深く鑑賞すると、優しさ、力強さ、根気、喜び、願いなどが感じられ心豊かなひと時を過ごせました。

会期中の土曜・日曜には、ランプシェード作り、3色パステルアート体験のワークショップが行われました。

今後も多くの作品の発表と交流の場となることを願うとともに、来年も新たな作品に出逢えることを楽しみにしています。

（板垣 ひとみ）



川崎市育成会手をむすぶ親の会活動報告

《令和4年10月20日～令和5年1月20日まで》

<各種会議、行事>

10月25日(火)	第5回権利擁護委員会	地域福祉施設「ちどり」
31日(月)	行政との研修会	てくのかわさきてくのホール
11月4日(金)	三役会議	オンライン
8日(火)	障害者基礎年金学習会	地域福祉施設「ちどり」&オンライン
16日(水)	第7回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
18日(金)	第4回余暇活動委員会	地域福祉施設「ちどり」
29日(火)	第3回広報委員会	地域福祉施設「ちどり」&オンライン
12月2日(金)	三役会議	オンライン
6日(火)	弘済会からの寄付金受領	地域福祉施設「ちどり」
20日(火)	第8回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」
1月11日(水)	三役会議	オンライン
20日(金)	第9回運営委員会	地域福祉施設「ちどり」

<対外行事>

10月20日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
22日(土)	全育連関東甲信越ブロック大会・長野大会	長野県
26日(水)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
11月1日(火)	権利擁護セミナー	オンライン
7日(月)	川崎市社会福祉協議会評議員会	書面決議
9日(水)	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
10日(木)	あんしんセンター業務監督審査会	川崎市総合福祉センター
10日(木)	第7回ふれあいバザールみぞのくち	JR 武蔵溝ノ口駅南北自由通路
17日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
22日(火)	川崎市障害者作品展実行委員会	サンピアンかわさき
28日(月)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	バレールビル
29日(火)	障害者週間ティッシュ詰め作業	川崎市総合自治会館
29日(火)	市社協障害者団体部会	川崎市総合自治会館
29日(火)	やまゆり障害児者生活サポート協会研修会	オンライン
12月3日(土)	第6回手をつなぐフェスティバル	とどろきアリーナ
3日(土)	障害者週間ティッシュ配布	川崎駅・武蔵溝ノ口駅・新百合ヶ丘駅
9日(金)	二十歳を祝う会実行委員会	地域福祉施設「ちどり」
9日・13日	令和4年度課題研修・疑似体験講演	川崎市総合福祉センター
14日～18日	川崎市障害者作品展	アートガーデンかわさき
15日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
19日(月)	川崎市中央療育センター事故の検証にかかる有識者会議	ソリッドスクエア
1月5日(木)	川崎市新年賀詞交換会	ミューザ川崎
6日(金)	令和5年二十歳を祝う会拡大実行委員会	川崎市民プラザ
10日(火)	市社協臨時評議員会	川崎市総合自治会館
12日(木)	市社協新年賀詞交換会	ホテル KSP
14日(土)	令和5年二十歳を祝う会	川崎市民プラザ
19日(木)	障害者支援区分認定審査会	オンライン
19日(木)	あんしんセンター業務監督審査会	川崎市総合福祉センター

寄 付	一般社団法人 川崎市弘済会	100,000 円
	高井 美恵子	30,000 円
	匿名	3,000 円
	山田 勝子	10,000 円
	(順不同・敬称略) 1,000 円以上を記載しています。	





第1部・第2部式典 記念撮影



新二十歳へのエール



新二十歳おめでとう



編集後記

寒い日が続きますが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか？
 私が広報委員になってから、文章を書くことや伝えることの難しさを常に考えるようになりました。委員の方々からアドバイスをいただきながら、なんとか活動をしています。もうすぐ還暦を迎えますが、まだまだ未熟だと痛感する日々です。より良い広報紙を作りたいと思いますので、これからも応援していただけると嬉しいです。(安達 ゆかり)

【も く じ】

- P. 1... 育成会会長新年挨拶
- P. 2... 令和5年二十歳を祝う会 市長祝辞
- P. 3... 令和5年二十歳を祝う会 誓いの言葉
- P. 4... 第55回手をつなぐ育成会関東甲信越大会長野大会
- P. 5... 第13回全国手をつなぐ育成会 権利擁護セミナーin石川
- P. 6... 行政関係者との研修会/やまゆり研修会/やまゆり広告
- P. 7... 啓発キャラバン隊研修会/ぜんち共済広告
- P. 8... かわさきキャラバン隊講演/「教えて！障害基礎年金」学習会
- P. 9... 障害者週間市長表彰/第6回手をつなぐフェスティバル/第7回ふれあいバザールみぞのくち
- P. 10... 私たちの広場/すったもんだの毎日/令和4年度川崎市障害者作品展
- P. 11... 活動報告
- P. 12... 二十歳を祝う会/編集後記/もくじ

発行責任者 川崎市育成会手をむすぶ親の会 会長 美和 とよみ
 〒213-0011 川崎市高津区久本 3-6-22 地域福祉施設「ちどり」
 TEL : 044-812-2966 FAX : 044-813-1216 <http://web-k2.jp/ikusekai-kawasaki>